

令和7年 6月 20日

令和6年(2024年度) 学校関係者評価 報告書

一般財団法人 積善会
愛媛十全医療学院
学校関係者評価委員

一般財団法人積善会 愛媛十全医療学院 学校関係者評価委員は、令和6年度の学校運営に対する自己評価・外部委員評価に基づいて学校関係者評価を行いましたので、下記の通り報告いたします。

1 実施日：自己評価 令和7年 4月
外部評価 令和7年 5月～6月

2 実施方法： 特別支援学校校長会会長の交代に伴い、愛媛県立みなら特別支援学校の松本幸恵校長先生を新たに外部評価委員に迎え、3名の外部委員には、施設訪問、web対応、電話連絡等の方式による個別対応とファイル形式での評価方法により実施した。
なお、対面による会議形式での委員会開催はコロナ禍を経て、必要な場合に限った開催へ変更した。

3 学校関係者外部評価委員

松本 幸恵 愛媛県特別支援学校校長会 会長
伊藤 雄規 十全総合病院 リハビリテーション科技師長
青木 進治 介護老人保健施設 希望の館 作業療法士

<内部委員>

松田芳郎 (愛媛十全医療学院 学院長)
中津孝文 (愛媛十全医療学院 事務長)
福田 靖 (愛媛十全医療学院 教務科長)
岩本英毅 (愛媛十全医療学院 理学療法学科 学科長)

4 学校関係者評価の内容と実施状況

1)学校関係者評価の目的と方針

- ①関係業界・職能団体、高等学校、学生保護者、地域住民などの学校関係者が、本学院の自己評価の結果を評価することを通して、学校運営・教育活動を確立し、その客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者評価により明確となった学校運営・教育活動における課題の改善を図る。

③学校関係者の外部評価は、自己評価を基に、「専修学校における学校評価ガイドライン」及び本学院の学校評価実施規定に則り実施する。

2)評価方法と公表

学校関係者評価の実施にあたっては、当該年度に実施した「自己点検評価」を学校関係者委員の皆様にご確認いただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価をとりまとめた。

各項目の評価結果や総評は、今後の本学院における教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページへ公表いたします。

5 学校関係者評価・意見

評価項目に対する学校関係者の評価及び意見や提案等を報告します。

- A 十分に達成している。 [達成度が高い]
B 達成している。 [概ね達成しており改善を要しない]
C 達成がやや不十分である。 [若干の改善を要する]
D 達成が不十分である。 [不適合がある、改善を要する]

6 学校関係者評価項目

項目1 教育理念・目標・方針

項目2 学校運営

項目3 教育活動

項目4 教育成果

項目5 学生支援

項目6 教育環境

項目7 学生募集と受け入れ

項目8 財務

項目9 法令等の遵守

項目10 社会貢献・地域貢献

以下、評価項目に従い、自己評価ならびに学校関係者委員による結果と総評(意見等)を報告いたします。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目1 教育理念・目的・方針

評価報告(最終)

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	学院の教育理念や目的、育成人材像は定められているか	A	A	A	A
②	学院の教育理念や目的、育成人材像が明文化され公表されているか	A	A	A	A
③	学科ごとの教育方針が明文化され公表されているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由(他、課題や対応があれば)

開学より「建学の精神」を基本とし、誠の医療を常に提供できる医療人を目指すべき人材を育成している。
学院のHPでは、アセスメント・ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの4ポリシーを掲載し、誰に対しても基本方針が理解できるように公開している。
また、アセスメント・ポリシーについて具体的な検証方法を提示している。
学生に対しては各学科・学年でのガイダンスや前期・後期のオリエンテーションにおいて冊子媒体を活用し説明している。
学生募集に際しても、オープンキャンパス等で「建学の精神」を伝え、当学院の目指す教育理念・目標を丁寧に説明した。
各学科ごととしては、ホームページにて学科長メッセージとして教育方針を明示している。

項目2 学校運営

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	A	A	A
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されてるか、有効に機能しているか	A	A	A	A
③	国のガイドライン等で定める基準が遵守されているか	A	A	A	A
④	情報システム化による業務の効率化が図られているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

前年度の学生動向や官公庁の指針、規則改定などをふまえ、学内で継続的に審議し次年度に向けての事業計画を立案している。
運営会議、カリキュラム検討(FD)委員会・協議会等、学則に明文化している。
国の基準に従い、各職能団体が提示している業務指針及びガイドラインを参考に、必要に応じて学則の改定等を実施している。また、第三者機関の審査規定を遵守し、自己点検をしながら適宜クリアしている。
情報システム化については、マイクロソフトTEAMSを導入し、学生への情報発信並びに教職員の情報共有が円滑に進むよう整備がなされている。
しかし、学生の教育に必要な整備については不十分な点もあり、今後の課題として取り組みたい。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目3 教育活動

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	A	A	A
②	教育目標に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	A	A	A
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	A	A	A
④	関連分野の医療施設との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	A	A	A	A
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	A	A	A
⑥	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	A	A	A	A
⑦	成績評価・単位基準・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	A	A	A
⑧	人材育成、目標に向け講義を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A	A	A	A
⑨	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	A	A	A	A
⑩	教員の能力開発のための研修等が行われているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

<p>建学の精神に沿った教育を目指し、教育課程の編成・実施を行った。</p> <p>シラバスを公開し、3年間の学習過程を可視化することにより、学生自身が主体的に学ぶことが出来る指導体制を図ることが出来た。</p> <p>カリキュラムツリーを作成しカリキュラム体系の可視化に努め、ホームページにて公開している。</p> <p>外部関係者からの評価を取り入れ、学内の教育の質の向上を図る取り組みを行った。</p> <p>FD委員会を中心に、学科等のカリキュラムが体系的に編成されているか確認をし、必要に応じて見直しを行った。</p> <p>また、学生の授業評価を各期ごとに実施し、講義内容の見直しを行いながら時代に即した教育を目指して工夫・実施を行っている。</p> <p>各専門分野ごとに、豊富な臨床経験を有する教員並びに非常勤講師を配置して、先端的な講義が行われるよう取り組んでいる。</p> <p>教員の能力開発のための研修については、最新の教育システム導入などに向けて学内研修体制を整えたい。</p>
--

項目4 教育成果

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	資格取得率の向上、維持が図られているか	A	A	A	A
②	就職率の向上、維持が図られているか	A	A	A	A
③	退学率の低減が図られているか	B	B	A	A
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

<p>常に国家試験合格率100%を目指し、国家試験対策講義や模擬試験を実施し個々の学生に応じた学科別対応・ゼミ形式の指導・個人指導等を行っている。</p> <p>理学療法学科 新卒者 合格率 96.7% (全国平均 89.6%) * 昨年100%、一昨年100% 就職内定率:100%(3月末時点)</p> <p>作業療法学科 新卒者 合格率 100% (全国平均 85.8%) * 昨年95.5%、一昨年94.4% 就職内定率:100%(3月末時点)</p> <p>学生の希望に応じて就職指導を行い、就職試験についての細かなサポート(面接指導、履歴書指導)により就職率の向上を目指している。</p> <p>退学率の低減を目指して適宜学生面接を行い、学生の状態の把握に務めている。成績不良などで退学する者はいたが、学生全体ではきめ細かな指導・面接により減少傾向である。理学療法学科(今年度3人、昨年度3人)、作業療法学科(今年度1人、昨年度3人)。</p> <p>学業に支障が無い範囲で社会貢献を促し、ボランティア活動への参加を推奨している。卒業後は、各種専門職団体を通じて社会的な活動を行っている。</p>
--

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目5 学生支援

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	就職に関する体制は整備されているか	A	A	A	A
②	学生相談に関する体制は整備されているか	A	A	A	A
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	B	B	B	A
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A	A	A	A
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	C	C	B	B
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	B	B	B	B
⑦	保護者と適切に連携しているか	A	A	A	A
⑧	卒業生への支援体制はあるか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

①求人閲覧室を設置し学生はいつでも求人情報を得られる環境にある。また、担任を中心に就職活動の支援を行い、円滑に内定を得られるよう取り組んでいる。
②学生相談については、適宜担任により面接を行い常に学生の状況を把握するよう努めている。また、必要に応じて学内カウンセラーへ繋げて早期の対応を図っている。
③成績優秀者への学費免除等、特待生制度による経済的なサポートを行っている。また、遠隔地から入学した学生には住宅費補助も実施している。
④附属病院において健康診断を実施し、健康状態の把握に努めている。また、体調不良者は附属病院での受診等、医療面における支援体制を整備している。
⑤課外活動は、学生自治会等を通して活動している。また、自治会主体のボランティア活動へのサポートも行っている。
⑥入学時の宿舍案内、各種任意保険、生活防犯対策、実習生活の対策等ガイダンス時に外部から専門家・講師を招き対応している。
⑦保護者への情報提供として、メール等を活用して必要に応じて連携を図っている。また、保護者懇談会・保護者面談を行い、学院での学習状況を説明し適宜連携を行っている。
⑧同窓会活動を通じて、卒業生との連携を図る機会を設けている。

項目6 教育環境

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	B	B	B	A
②	学外の実習施設について十分な教育体制・生活環境を整備しているか	A	A	A	A
③	防災に対する体制は整備されているか	C	B	B	A
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

指定規則、ガイドライン等で定められている基準に従って整備されている。また、指定規則、ガイドラインの改正に伴って適宜整備を行っている。
基本的に on-line講義は実施していないが、システムは常時使用できるよう継続しており、臨床実習先での学生面接等で有効に利用している。
実習については、1)臨床実習指導者講習会での指導者との連携 2)実習施設整備及び宿舍の確保 3)マイクロソフトTEAMSなどにより学生と個別に連絡できる体制を整えている 4) 宿舍費や移動にかかる交通費の一部負担など、学外実習についての教育体制・生活環境の整備を行っている。
定期的な消防避難訓練の実施により、災害時の対応のマニュアル作成から実施の取り組みを行っている。また、耐震補強の工事を令和7年度実施予定である。
新規図書の購入と既存図書の整理をしながら、教育上必要な資料等の整理対応を行っている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目7 学生募集と受け入れ

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	学生募集活動は適正に行われているか	A	A	A	A
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A	A	A	A
③	学納金は妥当なものとなっているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

<p>広報室を設置し、室長を中心に高等学校訪問を積極的に行い、教育内容・教育成果について説明を行っている。また、高校別のガイダンス等にも積極的に参加し広く学生募集活動を行っている。また、オープンキャンパスを定期的を実施し、受験生や保護者に教育成果を伝える機会を設けている。</p> <p>また、医療職体験会・お仕事体験会など、附属病院と連携して幅広く医療に興味のある高校生に理学療法・作業療法の仕事の魅力を伝える場を設け、募集につなげている。</p> <p>入学者選抜要項が整備され、公表されている。</p> <p>ホームページにて入試情報・学納金・諸経費等についても公開している。</p>

項目8 財務

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	A	A	A
②	財務について会計監査が適正に行われているか	A	A	A	A
③	財務情報公開の体制整備はできているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

<p>年度末には、事業計画に沿っての反省と課題を整理し、年度初めには前年度の反省を踏まえ事業計画を立案して報告書を作成。</p> <p>報告書は、理事会・評議委員会へ提出し承認を得ている。</p> <p>財務の情報公開は法人本部にて一括掲示している。学院で申し出を受けた場合、紙面を提示する体制をとっている。</p>
--

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目9 法令等の遵守

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	A	A	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A	A	A	A
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A	A	A	A
④	自己点検・自己評価の公開を行っているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

①毎年所管機関へ現状を報告している。重要事項については学院会議により決定している。
②個人情報保護規程を設け、対応している。また、その内容を学生便覧に掲載し、学生に周知を行っている。
③第三者機関(リハビリテーション教育評価機構)により定期的な評価を受け、その際に自己点検をし問題点について改善すべく取り組んでいる。
④学院のホームページに一般公開している。

項目10 社会貢献・地域貢献

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	自治体事業への協力	B	B	B	A
②	地域住民への貢献、公開講座等を実施しているか	B	B	B	B
③	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	B	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

学院全体としての取り組みとして、
①愛媛パラスポーツフェスティバル ②傷害予防のための地元中学校へのストレッチ指導 ③えひめアピリンピック ④えひめねりんピック 等の地域支援事業に積極的に取り組んでいる。また、地域住民との交流の機会として、ボランティア活動などにも協力している。学生は、学業に支障がない時間帯や曜日に無理のない範囲で取り組めるよう、支援をしている。また、令和7年度よりボランティア表彰規程を設け、学院としてもサポート体制を構築している。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

◆ 学校関係者評価 総評(理由・ご意見等)

<p><松本委員による総評></p> <p>HPや学校案内に学生や卒業生のコメントがたくさん掲載され、動画による授業紹介もあって、魅力を伝える工夫がされていると感じました。</p> <p>令和6年度の国家試験受験者が理学療法学科30名に対し、作業療法学科は15名にとどまっていることを残念に思います。ガイドブックの就職内定施設や臨床実習施設一覧を見ると、理学療法学科に多くの施設数が記載されており、これは学生数の差によるのだらうと思いますが、なんとなく理学療法学科の方が活躍の場が広いかなのような印象を与えてしまう恐れがあると思いました。引き続き、作業療法士の魅力ややりがいもしっかりと発信していただきたいです。</p> <p>退学率の低減を目指したきめ細かな指導・支援をされていることに敬意を表します。成績不良による退学が少しでも減るよう、ICT活用を一層推進され、専門性の高い理学療法士、作業療法士の育成をお願いします。</p> <p>学生VOICEには、ボランティアが思い出に残っているというコメントもありました。貴学院ならではの地域貢献やボランティアの場が広がり、学生さんの学生生活充実と、十全医療学院のアピールにつなげていただきたいと思います。</p>
<p><伊藤委員による総評></p> <p>今年度も外部評価委員として関係書類、運営状況等拝見いたしました。社会の即戦力となる人材育成を実践するために、教員陣は臨床経験豊富で学生に対する指導教育も丁寧で熱意に溢れていることが伺えます。また他の養成校には少ない附属病院を有することで学生が臨床に触れる機会も多いことは大きな強みになっているのではないのでしょうか。開学以来、全国平均を上回る高い国家試験合格率や就職率が安定していることは入学志望者への安心材料であり多めに評価されるべきと考えます。項目5の⑤課外活動に対する支援体制については学生自治会による地域貢献・奉仕活動をHP上確認し、学内設備提供などの関りからB評価といたしました。少子化に伴い全国的に学生確保が問題視されていますが、今後は本校にとっても重要な課題であると思います。多様な進学経路への検討、リハビリテーション分野の社会的ニーズや魅力ある職業としての理解をアピールすることがより一層必要かと思えます。卒業生且つ臨床実習施設代表として微力ながら協力していきたいと思えます。</p>
<p><青木委員による総評></p> <p>昨年と同様に、学院ホームページや自己点検評価の理由を確認しながら評価させていただきました。</p> <p>自己点検評価の理由に対して、評価を上げて良いのではと判断した項目もあったため、一部評価を上げさせていただいております。</p> <p>自己評価の低い項目については、すでに具体的な改善案や目標などを検討されていることもあるかと思えますが、特に昨年と同様な評価になっている項目につきましては、早々のご検討とご対応をお願いできたらと思えます。耐震補強の工事については具体的な日程が決まったようで安心しております。時々ではありますが、個人的に学院のホームページやSNSでの発信内容を拝見させていただくことがあります。より良い学院に向けて新しい取り組みをされていると感じます。若い年代に対してのアピールは本当に難しいことだと思いますし、日々多忙な業務の中での更新作業は、さらに大変さが増しているのではと思えます。すでに学生からの声を聞きながら取り組まれていることも多いかと思えますが、課外活記載を依頼してみるなど、デジタルとアナログの両面を活用することも、幅広い年代の目に留まるきっかけになるのではと感じています。(すでに取り組んでおられる内容でしたら大変申し訳ありません)</p> <p>今後益々のご発展を祈念しております。</p>